



開校 10 周年記念式典

平成 29 年 12 月 4 日

師走となり、二学期も残すところ三週間となりました。遅くなりましたが、先月の 18 日（土）に開催されました「開校 10 周年式典」について報告し、この 10 周年だよりの最終号といたします。

当日は雨天を覚悟していましたが、式典が終わるまでは何とか天気も式典に配慮してもらえたようです。統合新校として未来型志向の式典は、六年生の天沼伝から幕が開きました。ステージとキャットウォークから響く太鼓の音は、アリーナ全体を揺らがせる迫力です。続いて、国歌「君が代」と杉並区歌を歌う声に、来賓の方々は無わず後方に位置する高学年に見とれていました。圧巻は、二つのスクリーンに映し出される映像と五年生のよろこびの言葉です。映像はグーグルアースとドローン撮影を編集して、未来から訪れた子どもに、天沼小学校の子ども達の日を紹介します。5 年生代表児童がファシリテートし、合奏「祝典行進曲」が式典を盛り上げました。最後は、10 周年に併せて作りました 4 番までの「天沼小学校」校歌で、幕を閉じました。

式典から午後の祝賀会までの時間は「おもてなしタイム」として、6 年生が来客の方々に抹茶を立てたり、6 年生が作成した学校紹介のコンテンツを「QR ツアー」としてタブレットやスマホで紹介したりし、まさに、天沼小学校の伝統文化理解教育と ICT 利活用の特色があらわれていました。



井出教育長は、開校当時の式典で「新校として 10 年後の校風を期待します。」と述べられたそうです。そのエビデンスが、今日の子供達の生き生きとした姿、保護者・地域の方々との連携、一丸となっている教職員…それら全てが「天沼小学校の校風」を生み出していますね、と話されていました。

10 周年行事を終えて

式典当日、全校の放送朝会で「配られた記念誌を家で見、おうちの方と話題にすること」を宿題としました。各先生方の話では、しっかりと記念誌の宿題を聞いていたとのことですので、各ご家庭でも当日は、周年行事の話題があがったことと推察いたします。



式典を終えた翌週の月曜日。私は校門で子ども達と挨拶を交わしていると、ランドセルについている周年記念のロゴのキーホルダーが目につきました。高学年の女子には、「もったいなくて使えない…」と大事にとっている児童もいるそうです。作成にあたりました町会長、PTA の方々に、まずはご報告したいトピックです。

【お知らせ】 現在、エントランスホールに海野氏の大絵画が飾られています。大型スクリーンで、制作過程と児童集会の様子をスライドショー（約 7 分間）で閲覧できるようにしています。明日と明後日の保護者会にご来校の際、お立ち寄りご覧いただきたいと思います。